

総合科学技術会議 専門調査会の再編

新たな専門調査会を設置する背景【第114回本会議(9/13)決定】

○第4期科学技術基本計画で示された課題解決型の取組の強化を踏まえ、科学技術イノベーション総合戦略で示す重要な課題を確実に実行するため、新たな取組として

①平成26年度アクションプラン対象施策の特定過程で各府省を一堂に参集したヒアリングを行い、施策の目標達成を効率的・効果的に進めるための連携を促し、プログラム化(いわゆる大括り化)を実施。

②特定に際し、各施策の成果検証が可能となる各年度毎の達成目標等を記載した詳細工程表を作成。

○これにより施策連携や目標が設定されたものの、課題の達成に向けた具体的な連携方法や進め方等の懸案も残る状況(特定における特記事項の内容)。

○平成26年度当初からの実施を実効性のあるものにするため、引き続き連携を進化させ、課題解決に資する体制を構築する必要あり。

科学技術イノベーション総合戦略(H25.6)

H26科学技術重要施策アクションプラン(H25.7)

H26アクションプランでの新たな取組

○施策の大括り化の促進

関係府省を集めたヒアリングを実施し、施策群の責任府省の特定、施策関係府省間の連携方策の助言等を実施



○詳細工程表の作成

年間のPDCAサイクルを着実に実行するため成果の検証が可能となる達成目標等を明示



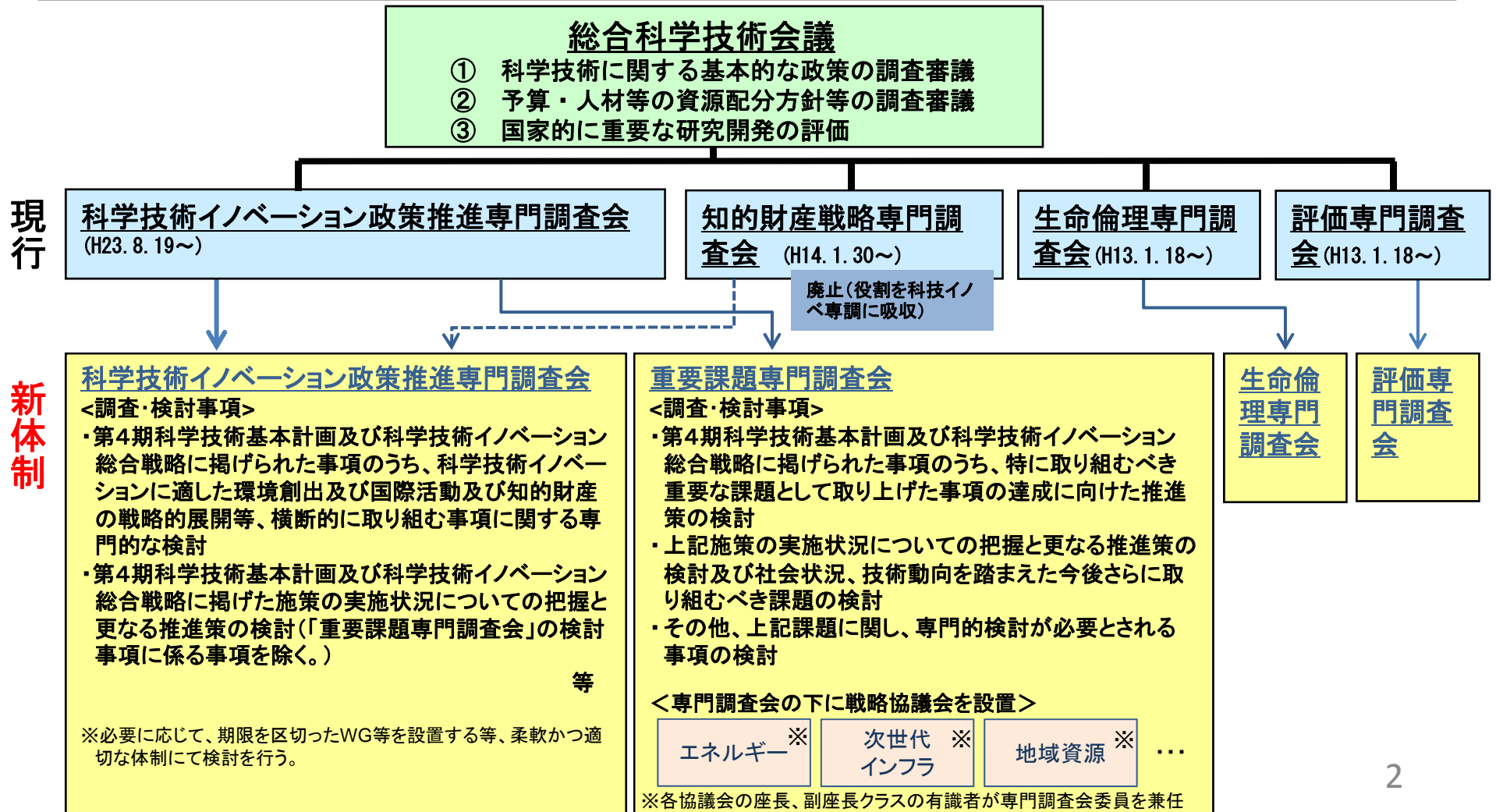
新たな専門調査会の設置

H26年度当初からの実施を実効性のあるものにするため、引き続き連携を進化させ、課題解決に資する体制を構築する必要



専門調査会の構成【第114回本会議(9/13)決定】

- アクションプランの進化点・改善点を踏まえた重要な課題の迅速な達成を図るため、当該課題に関する高い専門的知見を有する専門家により調査・検討を行う体制として専門調査会を新たに設置。
- 科学技術イノベーション政策推進調査会は、イノベーションに適した環境を創出するための中長期的な取組や、分野に共通する事項(国際関係活動、知的財産戦略等)等に議論を集中。



専門調査会の具体的検討事項【第114回本会議(9/13)決定】

科学技術イノベーション政策推進専門調査会

4期基本計画及び総合戦略に掲げる科学技術イノベーションに適した環境創出及び国際活動の戦略的展開等、横断的に取り組む事項に関する専門的な検討を行い、結果を総合科学技術会議に意見具申する。

1. 4期レビューの検討（基本理念、イノベ環境創出、横断的事項）
 - ・4期における課題抽出、5期に向けた方向性を検討
2. 総合戦略を踏まえた科学技術イノベーション環境創出のあり方の検討
 - ・重点施策の推進のあり方（全体像を俯瞰した取組検討、課題抽出、改善提案の検討）
3. その他事項（国際戦略等の横断的事項）についての検討

重要課題専門調査会

4期基本計画及び総合戦略に掲げる重要な課題の達成に向けて以下に関する検討を行い、結果を総合科学技術会議に意見具申する。

1. アクションプラン（AP）対象施策の推進

- ・各省を参集した議論等による、AP対象施策のプログラム化の一層の強化 に関する検討（連携方策、進捗管理など）

2. 今後のAPの対象に関する検討

- ・上記AP推進状況や社会状況、技術動向を踏まえた、今後APとして取り組むべき課題、研究開発の方向性等の検討

科学技術イノベーション政策推進専門調査会の体制（案）

- ◆ 重要課題専門調査会の設置に伴い、「復興再生戦略協議会」、「ライフイノベーション戦略協議会」、「グリーンイノベーション戦略協議会」、「ナノテクノロジー・材料共通基盤技術検討ワーキンググループ」、「ICT共通基盤技術検討ワーキンググループ」を廃止する。
- ◆ 「基礎研究及び人材育成部会」、「科学技術外交戦略タスクフォース」は審議を踏まえ、次回以降検討

科学技術イノベーション政策推進専門調査会

基礎研究及び人材育成部会

科学技術外交戦略タスクフォース

復興再生戦略協議会

ライフイノベーション戦略協議会

グリーンイノベーション戦略協議会

ナノテクノロジー・材料共通基盤技術検討ワーキンググループ

ICT共通基盤技術検討ワーキンググループ

重要課題専門調査会
設置に伴い **廃止**